

ビジネスモデル

あすか製薬ホールディングスグループは、創立以来培ってきたホルモン領域に関する知見を基盤とするコア・コンピタンスを強みとし、価値創造を実現するビジネスモデルを展開しています。
国内医療用医薬品事業を基盤に、創薬、グローバル、アニマルヘルス、検査・ア라운드ピルへと事業領域を拡張し、研究開発から価値創出までの一体的な仕組みを構築しています。
各事業の連携により未充足医療ニーズの解決と事業機会の拡大を図り、持続的な成長と企業価値向上につなげていきます。

あすか製薬ホールディングスグループ のコア・コンピタンス

経営資本

人的資本

高い専門性と多様性

財務資本

財務基盤と積極投資

知的資本

蓄積されたノウハウ

製造資本

クオリティカルチャー

社会関係資本

強固な顧客基盤

自然資本

持続可能な社会貢献

専門性の高い人材・組織力

当社グループの専門性の高い人材・組織力は、ホルモン領域で培ってきた知見と事業基盤の蓄積により形成されてきました。スペシャリティ領域での専門性の深化により、研究開発から製造・販売まで一貫した価値提供を実現しています。さらにDXや新規モダリティへの対応を通じて研究開発力を高度化し、価値創出の基盤を強化しています。

ステークホルダーからの確かな信頼

当社グループのステークホルダーからの確かな信頼は、生命関連事業に求められる高い倫理観と品質への取り組みの積み重ねにより築かれてきました。研究開発から製造・販売、情報提供に至るまで品質管理とコンプライアンスを徹底し、安全性と信頼性を確保しています。これにより多様なステークホルダーとの関係を強化し、事業の持続性を支えています。

スペシャリティ領域における確固たるプレゼンス

当社グループのスペシャリティ領域における確固たるプレゼンスは、特定領域で長年培った実績と医療現場からの評価の積み重ねにより形成されています。高度な医療ニーズに対応する製品開発・提供を通じて独自のポジションを確立し、その強みを各事業へ展開しています。これにより既存領域の価値最大化と新たな成長機会の創出につなげています。

創業以来培ってきたホルモン領域に関する知見

あすか製薬ホールディングスグループ の事業領域

国内医療用医薬品

産婦人科および甲状腺領域を中心とするスペシャリティ領域でプレゼンスを確立し、収益基盤を形成しています。新製品の導入や新領域への展開、治療用アプリなどの新たなモダリティへの取り組みを通じて、医療価値の提供と成長機会の拡大を図っています。

創薬

産婦人科領域を軸に創薬研究基盤の強化を進め、イオンチャネル創薬やオープンイノベーションを通じて新規モダリティを取り込み、競争力を高めています。自社創製品の開発や導出により、中長期的な収益機会の創出につなげています。

グローバル

ベトナム・フィリピンを中心に東南アジアで事業展開を進め、Hataphar社の新工場を活用した供給体制を強化しています。現地ニーズに対応した製品展開により、海外市場におけるプレゼンス向上と収益拡大を推進しています。

アニマルヘルス

生殖・内分泌領域を中心に、産業動物およびコンパニオンアニマル向け製品を展開しています。新製品投入や海外展開を通じて事業の拡大を図り、人と動物の共生社会への貢献と収益基盤の強化を進めています。

検査・ア라운드ピル

ホルモン測定技術を基盤に検査事業を展開し、非侵襲検査キットの普及を推進しています。さらにア라운드ピル領域への展開や外部連携により、医薬周辺領域での新たな収益基盤の構築を進めています。

イントロダクション

価値創造ストーリー

- 7 社長メッセージ
- 11 価値創造プロセス
- 12 事業環境認識
- 14 マテリアリティ
- 17 資本と強み
- 19 ビジネスモデル
- 20 ステークホルダーへの提供価値
- 21 特集:女性医療の重要性とあすかのポテンシャル

戦略解説

価値創造の基盤

コーポレートデータ



ビジネスモデル
https://www.aska-pharma-hd.co.jp/invest/individual/business_model.html

